



思いやりの大切さ

令和7年12月3日 12月全校朝会

12月4日から10日まで「^{じんけんしゅうかん}人権週間」です。

「^{じんけん}人権」とは、^{ひとりひとり}一人一人が^う生まれた^{とき}時からもっている

「^{じぶん}自分らしく^い生きる」^{けんり}権利のことです。



一人一人のちがいを認め、自分や友だちの良いところを見つけて、
それぞれが大切な存在であることを知るといふ、一週間です。

そこで、みなさんには、

「^{おも}思いやり」をもった^{こうどう}行動をしてほしい

「^{おも}思いやり」を大切に^{たいせつ}した^{せいかつ}生活を送ってほしい

です。

「^{おも}思いやり」とは「^{ひと}人に^{おも}思いを^む向ける」ということ。

わかりやすく言うと「^{ひと}人の^{きも}気持ちを^{かんが}考える」ということ。

しかし、^{ひと}人の^{きも}気持ちを^{かんが}考えて、それを^{こうどう}行動にあらわすことは、

なかなか^{ゆうき}勇気のいることだ^{おも}と思います。



ここで、^{しじん}詩人の
^{みやざわしやうじ}宮澤章二さんの詩
「^{こうい}行為の^{いみ}意味」
の^{いっせつ}一節を^{しょうかい}紹介します

「^{こころ}ころ」は
だれにも^{みえ}見えないけれど
「^{こころづかい}ころづかい」は^{みえ}見える

「^{おも}思い」は^{みえ}見えないけれど
「^{おも}思いやり」は
だれに^{みえ}でも見える

14年前の
東日本大震災のあと、
テレビのCMで
流れていたものです

だれの^{こころ}心の中にも
あたたか^{じんずい}く純粋な
^{おも}思いやりの^{こころ}心があります

しかし、それは
いつも^{みえ}見えているわけでは
ありません

でも
たった^{ひとこと}一言の^{ことば}言葉がけや
一つの^{ひと}行動で

「^{こころづかい}ころづかい」や
「^{おも}思いやり」が
^{みえ}見えることがあります

たとえば、

やさしい^{ことば}言葉をかける、^{えがお}笑顔で^{せつ}接する、^てそっと^か手を貸す、そばにいてあげる

このような^{こうい}行為から、

その人の^{ひと}あたたかな^{あた}温かな「^{こころづかい}ころづかい」や「^{おも}思いやり」が伝わってくると^{おも}思います。

2学期も^{がっき}登校する日は
今日を入れて16日間
令和7年、2025年も
のこり^{れいわ}あと^{なん}わずかです

みんなが
思いやりをもった^{こうどう}行動、
思いやりを^{たいせつ}大切に^しした
生活を送ることができれば

心^{こころ}温かく、^{やさ}優しい^{きも}気持ち、
幸せな^{しあわ}気持ちで
2学期を終え、^{あた}新しい^{とし}年を
迎えることができるはず^{むか}です

